

平成30年度事業報告書

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日

第1 職業能力評価に係る基盤の整備・充実

事 項	実 施 状 況												
1 良質な技能検定試験問題等の作成と技能検定制度の普及促進													
ア 技能検定試験問題等の作成	<p>検定職種（作業）ごとに中央技能検定委員会を開催し、現場における技術・技能の動向等を踏まえるとともに、都道府県職業能力開発協会（以下「都道府県協会」という。）の実施経費低減並びに受検者増を目指した良質な試験問題及びその実施要領を作成した。また、外国人に対する技能実習制度に係る職種（作業）について、試験問題等の作成を行った。</p> <table><tbody><tr><td>(1) 等級別作業数</td><td>677作業</td><td>[650作業]</td></tr><tr><td>(2) 作成学科試験問題数</td><td>38,830題</td><td>[33,960題]</td></tr><tr><td>(3) 技能検定受検申請者総数</td><td>258,690名</td><td>[228,286名]</td></tr><tr><td>(4) 合格者総数</td><td>153,076名</td><td>[142,581名]</td></tr></tbody></table> <p>注〔 〕内は平成29年度実績</p>	(1) 等級別作業数	677作業	[650作業]	(2) 作成学科試験問題数	38,830題	[33,960題]	(3) 技能検定受検申請者総数	258,690名	[228,286名]	(4) 合格者総数	153,076名	[142,581名]
(1) 等級別作業数	677作業	[650作業]											
(2) 作成学科試験問題数	38,830題	[33,960題]											
(3) 技能検定受検申請者総数	258,690名	[228,286名]											
(4) 合格者総数	153,076名	[142,581名]											
イ 技能検定制度の普及・促進	<p>技能検定1級及び2級について、平成30年度から内装仕上げ施工職種に化粧フィルム工事作業を新規に実施するとともに、3級については、かわらぶき職種を新規に実施した。また、厚生労働省の「技能検定集中強化プロジェクト」の一環として、レーザ加工、3級鉄筋施工（鉄筋施</p>												

事 項	実 施 状 況
<p>ウ 技能検定試験業務の指導</p>	<p>工図作成作業)等10職種について、職種・作業の新設に係る調査を実施した。</p> <p>さらに、技能検定受検申請者数の拡大に向けて、都道府県協会と連携し、ポスター、リーフレット等による広報活動、各種広告媒体の活用、ホームページの充実、関係団体等を通じた受検勧奨により、制度の一層の普及・促進を図った。</p> <p>技能検定の情報収集及び指導のため、中央技能検定委員及び当協会職員を実技試験会場等に派遣し、都道府県技能検定委員等から技能検定試験の課題内容等について意見を聴取するとともに、都道府県協会に対して、技能検定試験の実施について技術的な業務指導を行った。</p> <p>1. 機械・電気系職種（作業） 機械加工、機械検査、電子機器組立て、電気機器組立て、半導体製品製造、プリント配線板製造、鉄道車輛製造・整備、機械・プラント製図 （8職種10作業）</p> <p>2. 金属加工系職種（作業） 放電加工、金型製作、金属プレス加工、工場板金、めっき、溶射、ダイカスト （7職種7作業）</p> <p>3. 建設系職種（作業） 石材施工、かわらぶき、とび、樹脂接着剤注入施工、内装仕上げ施工 （5職種6作業）</p> <p>4. 諸工業系職種（作業） プラスチック成形、プリプレス （2職種2作業）</p>
<p>エ 各種会議の開催</p>	<p>実技試験の採点基準等の調整による全国的水準の統一、技能検定試験の適正な実施のための各種情報の提供及び意見交換等を行うため、次の会議を実施した。</p> <p>1. 技能検定実技試験水準調整会議（2回） （1）開催日：前期 平成30年5月10日・11日 後期 平成30年11月8日・9日 （2）場 所：前期 中野サンプラザ（東京都）</p>

事 項	実 施 状 況										
<p>オ 技能士実態調査の実施</p>	<p>後期 AP西新宿（東京都）</p> <p>(3)出席者：都道府県協会職員、同技能検定委員、都道府県庁職員、中央技能検定委員、厚生労働省職員</p> <p>2. 都道府県技能検定業務担当課長会議（2回）</p> <p>(1)開催日：前期 平成30年5月10日 後期 平成30年11月8日</p> <p>(2)場 所：前期 中野サンプラザ（東京都） 後期 AP西新宿（東京都）</p> <p>(3)出席者：都道府県協会職員、厚生労働省職員</p> <p>3. 技能検定実施職種に係る協力団体との情報交換会議（1回）</p> <p>(1)開催日：平成31年2月20日</p> <p>(2)場 所：AP西新宿（東京都）</p> <p>(3)出席者：諸工業職種関係団体（一般社団法人日本インドア・グリーン協会等）、厚生労働省職員等</p> <p>技能検定試験に合格した技能士、技能士が所属する企業・団体を対象に、技能士に求められる技能・知識等に関する実態を調査し、今後の技能検定試験での評価すべき技能・知識に関する検討に資するため、（一社）全国技能士会連合会に委託して調査を実施した。</p> <p>調査対象：製造素材・加工関係職種 技能士及び企業・団体1,380件 有効回答 937件（67.8%）</p> <p>調査期間：平成30年10月15日～11月22日</p>										
<p>2 CS試験によるパソコンスキル等の能力評価試験の推進</p> <p>コンピュータサービス技能評価試験の実施</p>	<p>1. コンピュータサービス技能評価試験の実施</p> <table border="0"> <tr> <td>(1)受験申請者総数</td> <td>35,967名 [39,818名]</td> </tr> <tr> <td>・ワープロ部門</td> <td>18,553名 [20,592名]</td> </tr> <tr> <td>・表計算部門</td> <td>17,036名 [18,675名]</td> </tr> <tr> <td>・情報セキュリティ部門</td> <td>378名 [476名]</td> </tr> <tr> <td>(2)合格者総数</td> <td>30,821名 [33,932名]</td> </tr> </table> <p>2. コンピュータサービス技能評価試験の広報周知</p> <p>受験者等に対し、次の広報周知を行った。</p> <p>(1)ポスター・パンフレットの印刷、配付</p>	(1)受験申請者総数	35,967名 [39,818名]	・ワープロ部門	18,553名 [20,592名]	・表計算部門	17,036名 [18,675名]	・情報セキュリティ部門	378名 [476名]	(2)合格者総数	30,821名 [33,932名]
(1)受験申請者総数	35,967名 [39,818名]										
・ワープロ部門	18,553名 [20,592名]										
・表計算部門	17,036名 [18,675名]										
・情報セキュリティ部門	378名 [476名]										
(2)合格者総数	30,821名 [33,932名]										

事 項	実 施 状 況
<p>3 ビジネス・キャリア検定試験の普及拡大</p> <p>ア 効果的・効率的なプロモーションの推進</p>	<p>(2) ホームページによる情報提供、コンピュータサービス技能評価試験活用事例の掲載</p> <p>(3) 各種会議での説明、受験勧奨</p> <p>(4) 情報セキュリティ試験の広報のための「情報セキュリティ基礎セミナー」の開催</p> <p>1. ビジネス・キャリア検定試験の実施</p> <p>38都道府県協会の協力を得て、全国47都道府県において、8分野43試験区分（1級・2級・3級・BASIC級）の試験を実施した。</p> <p>受験申請者数は、過去最高となった前年度の実績を上回った（対前年度比797名・3%増）。</p> <p>(1) 受験申請者数 31,605名 [30,808名]</p> <p>(2) 合格者数 13,291名 [13,598名]</p> <p>(3) 実施試験区分 8分野43試験区分 [8分野42試験区分]</p> <p>(1級) 人事・人材開発・労務管理、経理・財務管理、営業・マーケティング、生産管理、ロジスティクス、経営情報システム、経営戦略</p> <p>(2級) 人事・人材開発、労務管理、経理、財務管理(財務管理・管理会計)、営業、マーケティング、生産管理プランニング(製品企画・設計管理)、生産管理プランニング(生産システム・生産計画 [加工型・組立型])、生産管理プランニング(生産システム・生産計画 [プロセス型])、生産管理オペレーション(作業・工程・設備管理)、生産管理オペレーション(購買・物流・在庫管理)、企業法務(組織法務)、企業法務(取引法務)、総務、ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション、経営情報システム(情報化企画)、経営情報システム(情報化活用)、経営戦略</p> <p>(3級) 人事・人材開発、労務管理、経理(簿記・財務諸表)、経理(原価計算)、財務管理、営業、マーケティング、生産管理プランニング、生産管理オペレーション、企業法務、総務、ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション、経営情報システム、経営戦略</p> <p>(BASIC級) 生産管理、ロジスティクス</p> <p>2. ビジネス・キャリア検定試験のプロモーション活動</p> <p>都道府県協会との連携によるリーフレットの配布、都道府県協会主催会議等の場を活用した説明会の開催、関係団体の協力によるメール</p>

事 項	実 施 状 況
イ 学習環境の整備	<p>マガジンの配信、業界紙への広告出稿等を通じた広報・広告活動の他、新たな取組としてインターネットを通じた検索連動広告等を実施した。</p> <p>1. 標準テキストの改訂 社会経済や技術革新の動向、諸制度等の見直しが反映されたものとなるよう、概ね5年サイクルでの改訂計画を立て、以下の試験区分について発刊。 2級マーケティング、3級マーケティング、3級経営情報システム</p> <p>2. 過去問題解説集の作成 学習環境の一層の充実を図るため、以下の試験区分について発刊。 2・3級財務管理、2・3級労務管理</p>
ウ 試験体系の整備	<p>1 級試験の実施 本試験の最終到達を示す1級について、昨年度までに実施した6分野（人事・人材開発・労務管理、営業・マーケティング、生産管理、ロジスティクス、経営情報システム、経営戦略）に、さらに1分野（経理・財務管理）を追加し、7分野について試験を実施した。</p>

第2 職業生活の全期間を通じたキャリア形成の支援

事 項	実 施 状 況
<p>1 企業におけるキャリア形成の促進</p> <p>キャリア形成支援ツールの活用促進及び研修の効果的な実施</p>	<p>企業及び従業員のキャリア形成支援を推進するために、職業能力開発推進者、キャリアコンサルタント等を対象に、中央協会が開発したキャリア形成支援ツール（CADS&CADI）を活用したセミナーを開催した。</p> <p>なお、下半期開催分については、CADS（Ver3.0）の完成に伴い、当該ツールのPRと有識者による講演とを組み合わせる内容に変更し無料セミナーとして実施した。</p> <p>また、定年後のシニアになっても生き生き働き続けるために、40代半ば以降の従業員を対象に、中央協会が開発した教材を活用したキャリア・シフトチェンジのための研修（ワークショップ）及び当該研修を実施できるインストラクターの養成を行うためのセミナーを実施した。</p> <p>1. CADS&CADIを使った従業員のキャリア形成支援セミナー（全3回） (1) 第1回</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>ア.開催日：平成30年7月20日 イ.場 所：飯田橋レインボービル（東京都） ウ.受講者：28名</p> <p>(2)第2回 ア.開催日：平成30年9月7日 イ.場 所：エルおおさか（大阪府） ウ.受講者：24名</p> <p>(3)第3回 ア.開催日：平成30年10月19日 イ.場 所：飯田橋レインボービル（東京都） ウ.受講者：28名</p> <p>2.キャリア形成支援セミナー「今取り組むべきキャリア研修」（全2回）</p> <p>(1)第1回 ア.開催日：平成31年2月1日 イ.場 所：飯田橋レインボービル（東京都） ウ.受講者：40名</p> <p>(2)第2回 ア.開催日：平成31年2月19日 イ.場 所：エルおおさか（大阪府） ウ.受講者：42名</p> <p>3.キャリア・シフトチェンジのためのワークショップインストラクター養成研修（全4回）</p> <p>(1)第1回 ア.開催日：平成30年7月26日、7月27日 イ.場 所：飯田橋レインボービル（東京都） ウ.受講者：18名</p> <p>(2)第2回 ア.開催日：平成30年10月11日、10月12日 イ.場 所：A P大阪梅田東（大阪府） ウ.受講者：13名</p> <p>(3)第3回 ア.開催日：平成30年12月6日、12月7日 イ.場 所：飯田橋レインボービル（東京都） ウ.受講者：13名</p> <p>(4)第4回 ア.開催日：平成31年1月24日、25日 イ.場 所：飯田橋レインボービル（東京都）</p>

事 項	実 施 状 況
<p>2 労働者の主体的な能力開発に対する適切な情報提供</p>	<p>り. 受講者：24名</p> <p>労働者の自発的な職業能力開発の取組に対する支援及び環境整備として、「教育訓練給付制度講座検索システム」に一般教育訓練指定講座及び専門実践教育訓練指定講座に関する情報を提供した。</p> <p>また、教育訓練施設から提出された一般教育訓練及び専門実践教育訓練への講座指定申請に関する資料に対する事前調査を行った。</p> <p>(参考) 指定講座の概要</p> <p>○一般教育訓練 指定講座数：11,544講座（通学制：8,579件、通信制2,965件） 教育訓練施設数：1,717施設</p> <p>○専門実践教育訓練 指定講座数：2,175講座（通学制：2,012件、通信制：163件） 業務独占・名称独占資格の養成課程：1,233講座 専門学校での職業実践専門課程：706講座 専門職学位課程：76講座 大学等の職業実践力育成プログラム：101講座 一定レベル以上の情報通信技術養成課程：28講座 第四次産業革命スキル習得講座：31講座 （出所：厚生労働省（平成30年10月1日現在））</p>

第3 ものづくり日本を支える技能の継承・発展及び振興

事 項	実 施 状 況
<p>1 若年者ものづくり競技大会</p> <p>ア 技能競技大会の実施</p>	<p>第13回若年者ものづくり競技大会を、厚生労働省との共催により石川県産業展示館、ポリテクセンター石川（金沢市）、石川県立小松産業技術専門学校（小松市）、ポリテクセンター中部（小牧市）の4会場で行った。</p> <p>1. 開催日程: 平成30年8月1日～8月2日※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月1日 競技会場の下見、工具展開、職種別の開会式 ※ ・8月2日 競技実施 ※ <p>[※旋盤職種は7月30日から8月2日、フライス盤職種は7月28日から8月1日の間]</p> <p>全競技終了後、受賞者選考のための技術委員会を開催し入賞者を決定した。</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>・8月3日 ホームページにて、入賞者を発表した。 今大会の入賞者は、金賞 17 人、銀賞 36 人、銅賞 38 人、敢闘賞 94 人であった。金賞受賞者に、厚生労働大臣賞として楯を授与した。</p> <p>2. 開催場所: 石川県産業展示館、ポリテクセンター石川（金沢市）、石川県立小松産業技術専門校（小松市）、ポリテクセンター中部（小牧市） 4会場</p> <p>3. 競技職種: 15 職種を実施</p> <p>【石川県産業展示館会場】 メカトロニクス、機械製図（CAD）、電子回路組立て、電気工事、木材加工、建築大工、IT ネットワークシステム管理、ウェブデザイン、業務用 I T ソフトウェア・ソリューションズ、グラフィックデザイン、ロボットソフト組込み、造園 12 職種</p> <p>【ポリテクセンター石川会場】 旋盤 1 職種</p> <p>【石川県立小松産業技術専門校会場】 自動車整備 1 職種</p> <p>【ポリテクセンター中部会場】 フライス盤 1 職種</p> <p>4. 参加選手: 445 人</p> <p>5. 来場者: 3,710 人</p> <p>6. 大会要綱: 技術委員会、競技委員会及び運営委員会の各設置要綱を作成した。</p> <p>7. 大会運営: 競技委員会や技術委員会により、競技会場の検討、課題の作成、入賞者の決定等を行った。また、入賞者に対するメダル等を授与した。</p> <p>8. 後援: 文部科学省、経済産業省、国土交通省、石川県、NHK、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、公益財団法人産業教育振興中央会、職業能力開発総合大学校、一般社団法人全国技能士会連合会、公益社団法人全国工業高等学校長協会、一般社団法人全国高等学校 P T A 連合会、全</p>

事 項	実 施 状 況
イ ものづくり技能に関する啓発活動等	<p>国専修学校各種学校総連合会、全国中小企業団体中央会、全国農業高等学校長協会、都道府県職業能力開発協会、株式会社日刊工業新聞社、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本労働組合総連合会</p> <p>競技内容の理解や本大会への来場促進を図るため、以下のとおり広報等を行った。</p> <p>1. 2023 年技能五輪国際大会の招致 PR</p> <p>若年者大会会場インフォメーションブースにおいて、2023 年技能五輪国際大会招致のためのチラシ（愛知県庁及び厚生労働省製作各 100 部ずつ）を配布するとともに、国際大会のパネル展示などを行い、大会招致の周知・広報を行った。</p> <p>2. 大会ポスター及び職種紹介小冊子の作成・配付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数：3,000 枚（ポスター）、20,000 部（職種紹介小冊子） ・配付先：全国の工業高校、公共職業能力開発施設、都道府県、都道府県協会及び競技会場近隣の小中学校等 1,421 ヶ所へポスターと職種紹介小冊子を配付した。 <p>3. ガイドブック（選手名簿、競技課題等を掲載）の作成・配付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数：1,450 部 ・配付先：競技委員、選手、来場者等へガイドブックを配付した。 <p>4. 技能五輪全国大会成績優秀者等による実演等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：平成 30 年 8 月 1 日、2 日 ・実演場所：石川県産業展示館、ポリテクセンター石川、ポリテクセンター中部 ・実演職種：電子回路組立て、電気工事、グラフィックデザイン、旋盤及びフライス盤 <p>5. ホームページを活用した情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載内容：競技課題のほか、直接会場に来場できない方のために、競技スケジュールや参加者名簿を掲載し、本大会を紹介した。 ・掲載先：中央職業能力開発協会のホームページ ・アクセス数：305,370 件 <p style="text-align: center;">（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日現在）</p>

事 項	実 施 状 況
ウ アンケートの実施	<p>6. 技能競技大会全体の統一かつ、継続的なPR用ポスター及び小冊子の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数：1,000枚（ポスター）、5,000部（小冊子） ・配付先：都道府県、都道府県職業能力開発協会等へポスター及び小冊子を配付した。 <p>7. メディアとのタイアップ</p> <p>大会周知のため、石川県に協力依頼を要請し、県の包括提携先や県のホームページ等において、周知広報を行った。</p> <p>また、北國新聞に対して大会の広告掲載を行った。</p> <p>8. 職種紹介動画の作成</p> <p>大会見学を効果的、効率的に行うことができるよう、競技職種の紹介を行うための職種紹介動画を作成し、QRコードにより動画への容易なアクセスを可能にした。</p> <p>来場者、選手及び選手所属機関等を対象に、今後の大会運営の参考等とするため、以下のとおりアンケートを行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内 容：性別、年齢層、本大会の認識状況、参加職種、組織の種類、人材養成への貢献度、次回大会への参加意向 等 2. 回収状況：来場者分 404 件、参加選手分 299 件、選手所属機関 167 件のアンケートを回収した。
エ その他	<p>大会終了後、競技結果（順位、得点）についての情報提供窓口を設置し、情報提供を行った。</p>
2 技能五輪全国大会 ア 技能競技大会の実施	<p>第 56 回技能五輪全国大会を那覇市民体育館（那覇市）他、全 15 会場で以下のとおり開催した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開催日程：平成 30 年 11 月 2 日～11 月 5 日 <ul style="list-style-type: none"> ・11 月 2 日 競技会場の下見、工具展開 ・11 月 3 日 競技実施 [一部職種は先行して実施] ・11 月 4 日 全競技が終了。その後、受賞者選考のための技術委員会を開催し入賞者を決定した。 ・11 月 5 日 「奥武山陸上競技場」の閉会式において、大会の入

事 項	実 施 状 況
	<p>賞者（金賞 45 人、銀賞 91 人、銅賞 105 人、敢闘賞 219 人）にメダルを授与した。また、金賞受賞者、最優秀選手団、優秀選手団には、厚生労働大臣賞等として記念の楯を授与した。</p> <p>2. 開催場所 那覇市民体育館、沖縄調理師専門学校、専門学校大育、奥武山公園（那覇市）、沖縄コンベンションセンター、宜野湾海浜公園（宜野湾市）、琉球調理師専修学校、浦添運動公園、浦添ふ頭南緑地（浦添市）、沖縄県総合運動公園、沖縄市立総合運動場（沖縄市）、豊見城市民体育館、OTM 車両整備センター豊崎工場（豊見城市）、うるま地区内賃貸工場（うるま市）、日立オートモティブシステムズ株式会社技術技能教育センター（ひたちなか市） 15 会場</p> <p>3. 競技職種：42 職種を実施 機械組立て、抜き型、精密機器組立て、メカトロニクス、機械製図、旋盤、フライス盤、構造物鉄工、電気溶接、木型、タイル張り、自動車板金、曲げ板金、配管、電子機器組立て、電気、工場電気設備、石工、左官、家具、建具、建築大工、貴金属装身具、フラワー装飾、美容、理容、洋裁、洋菓子製造、自動車工、西洋料理、造園、和裁、日本料理、レストランサービス、車体塗装、冷凍空調技術、IT ネットワークシステム管理、情報ネットワーク施工、ウェブデザイン、とび、時計修理、移動式ロボット</p> <p>4. 参加選手：1,292 人</p> <p>5. 来場者：延べ 129,876 人（式典については、アビリンピックの関係者数も含む）</p> <p>6. 大会要綱：技術委員会、競技委員会及び運営委員会の各設置要綱を作成した。</p> <p>7. 大会運営：運営委員会・競技委員会・技術委員会により、競技会場の検討、課題の作成、入賞者の決定等を行った。</p> <p>8. 後 援：文部科学省、経済産業省、国土交通省、都道府県（沖縄県を除く）、都道府県職業能力開発協会、NHK、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構、職業能力開発総合大学校、一般社団法人 全国技能士会連合会、全国専修</p>

事 項	実 施 状 況
<p>イ 第 56 回技能五輪 全国大会選考会の 開催</p>	<p>学校各種学校総連合会、全国中小企業団体中央会、全国農業高等学校長協会、株式会社日刊工業新聞社、一般社団法人 日本経済団体連合会、一般社団法人 日本産業訓練協会、日本商工会議所、日本労働組合総連合会、公益社団法人全国工業高等学校長協会</p> <p>工業高校生等に対して、技能五輪全国大会への出場機会を与えるとともに、出場レベルの技能を有している者を選考するため、以下のとおり選考を行った。</p> <p>1. 実施職種、開催日及び開催場所 「メカトロニクス」、「自動車整備」、「IT ネットワークシステム管理」※、「ウェブデザイン」、「ロボットソフト組込み」職種 ・開催日：平成 30 年 8 月 1 日～8 月 2 日 ※「IT ネットワークシステム管理」は平成 30 年 7 月 30 日～7 月 31 日 ・開催場所：石川県産業展示場（金沢市）、石川県立小松産業技術専門学校（小松市）</p> <p>2. 結果 上記 1 の各職種について、上位選手 3 名及び沖縄県選手の最上位者の選手が第 56 回技能五輪全国大会への出場権を得た。</p>
<p>ウ ものづくり技能 に関する啓発活動 等</p>	<p>競技内容の理解や本大会への来場促進を図るため、以下のとおり広報等を行った。</p> <p>1. リーフレットの作成 ・作成部数：3,000 部 ・配布先：茨城県内の公共機関</p> <p>2. 職種紹介小冊子の作成 ・作成部数：16,700 部 ・配布先：競技内容や競技のポイントを解説した小冊子を、大会期間中、競技会場（15 会場）にて来場者へ配布した。</p> <p>3. 競技中継の実施 全 15 会場 42 職種について、flickr を利用した競技風景の公開を行った。</p> <p>4. ホームページを活用した情報の提供</p>

事 項	実 施 状 況
<p>エ アンケートの実施</p> <p>オ その他</p> <p>3 2次予選会の実施等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掲載内容：競技課題のほか、直接会場に来場できない方のために、競技スケジュールや参加者名簿を掲載し、本大会を紹介した。 ・掲載先：中央職業能力開発協会のホームページ ・アクセス数：748,036件 (平成30年4月1日～平成31年3月31日現在) <p>5. メディアとのタイアップ</p> <p>大会周知のため、沖縄県と連携し、地元の小中高校等の教育訓練機関へ競技を見学してもらうように周知・広報した。</p> <p>また、精密機器組立て会場においては、茨城県内で開催するため、茨城新聞に掲載をし、来場促進を図った。</p> <p>6. 職種紹介動画</p> <p>大会見学を効果的、効率的に行うことができるよう、競技職種の紹介を行うための職種紹介動画を作成し、QRコードにより動画への容易なアクセスを可能にした。</p> <p>来場者、選手及び選手所属機関等を対象に、今後の大会運営の参考等とするため、以下のとおりアンケートを行った。</p> <p>1. 内 容：性別、年齢層、本大会の認識状況、参加職種、組織の種類、人材養成への貢献度、次回大会への参加意向 等</p> <p>2. 回収状況：来場者分 1,507 件、参加選手分 719 件、選手所属機関 337 件のアンケートを回収した。</p> <p>大会終了後、競技結果（順位、得点）についての情報提供窓口を設置し、情報提供を行った。</p> <p>旋盤職種及び電子機器組立て職種については、2次予選会を行い、参加人数の調整を行った。</p> <p>(旋盤職種)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成30年7月28日、29日 ・開催場所：ポリテクセンター中部、東海職業能力開発大学校、ポリテクセンター関西 <p>(電子機器組立て職種)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成30年8月21日

事 項	実 施 状 況
<p>4 技能グランプリ</p> <p>ア 技能競技大会の実施</p> <p>イ ものづくり技能</p>	<p>・開催場所：コンベンションルーム AP西新宿</p> <p>第30回技能グランプリを神戸国際展示場（神戸市）他、全7会場で以下のとおり開催した。</p> <p>1. 開催日程：平成31年3月1日～4日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月1日 競技会場の下見、工具展開 ・3月2日 競技実施 [一部職種は先行して実施] ・3月3日 全競技が終了。その後、受賞者選考のための技術委員会を開催し入賞者を決定した。 ・3月4日 「神戸ポートピアホール」の閉会式において、大会の入賞者（金賞31人、銀賞55人、銅賞56人、敢闘賞81人）にメダルを授与した。また、金賞受賞者、最優秀選手団、優秀選手団には、厚生労働大臣賞等として記念の盾を授与した。 <p>2. 開催場所 神戸国際展示場、神戸ポートピアホテル（神戸市）、近畿職業能力開発大学校附属滋賀職業能力開発短期大学校（近江八幡市）、(株)静岡鐵工所（静岡市）、兵庫県立ものづくり大学校、ものづくり大学校東（姫路市）、兵庫栄養調理製菓専門学校（西宮市） 7会場</p> <p>3. 競技職種：30職種を実施 染色補正、婦人服製作、紳士服製作、和裁、寝具、石工、建築大工、かわらぶき、畳製作、建築配管、プラスチック系床仕上げ、カーペット系床仕上げ、壁装、旋盤、フライス盤、機械組立て、家具、建具、ガラス施工、貴金属装身具、印章木口彫刻、表具、園芸装飾、ペイント仕上げ広告美術、粘着シート仕上げ広告美術、日本料理、フラワー装飾、レストランサービス、タイル張り、造園</p> <p>4. 参加選手：533人</p> <p>5. 来場者：延べ29,209人</p> <p>6. 大会要綱：技術委員会、競技委員会及び運営委員会の各設置要綱を作成した。</p> <p>競技内容の理解や本大会への来場促進を図るため、以下のとおり広報</p>

事 項	実 施 状 況
<p>に関する啓発活動等</p>	<p>等を行った。</p> <p>1. 大会ポスター及びリーフレットの作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数：3,000部（ポスター）、20,000部（リーフレット） ・配付先：競技日程、競技会場、競技職種等を紹介したポスターを公共職業能力開発施設等209ヶ所へ配布した。リーフレットは競技会場で配布した。 <p>2. ホームページを活用した情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載内容：競技課題等を掲載し、本大会に係る情報提供を行った。 ・掲載先：中央職業能力開発協会のホームページ ・アクセス数：335,114件 (平成30年4月1日～平成31年3月31日現在) <p>3. メディアとのタイアップ</p> <p>大会周知のため、神戸新聞に掲載をし、来場促進を図った。</p> <p>4. 職種紹介動画</p> <p>大会見学を効果的、効率的に行うことができるよう、競技職種の紹介を行うための職種紹介動画を作成し、QRコードにより動画への容易なアクセスを可能にした。</p> <p>5. 併催イベントの実施</p> <p>兵庫県と連携して、大会期間中に洋菓子製造の実演を行った。</p>
<p>ウ アンケートの実施</p>	<p>来場者、選手及び選手所属機関等を対象に、今後の大会運営の参考等とするため、以下のとおりアンケートを行った。</p> <p>1. 内 容：性別、年齢層、本大会の認識状況、参加職種、組織の種類、人材養成への貢献度、次回大会への参加意向 等</p> <p>2. 回収状況：来場者分 624件、参加選手分 278件、選手所属機関 222件のアンケートを回収した。</p>
<p>エ その他</p>	<p>大会終了後、競技結果（順位、得点）についての情報提供窓口を設置し、情報提供を行った。</p>
<p>5 国際大会参加予定選手に対する強化訓</p>	

事 項	実 施 状 況
<p>練等</p> <p>ア カザン大会出場 選手の決定及びエ キスパートの選考</p> <p>イ 各種委員会の設 置</p> <p>ウ 海外大会等への 派遣等</p>	<p>1. 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会の成績、業界団体等における選考会の成績を基に、技能五輪国際大会の出場資格を有する者を代表選手として決定した。</p> <p>2. エキスパートは、日本代表選手所属企業、全国大会の協力団体の意向を調査し、選任した。</p> <p>2023年技能五輪国際大会招致委員会のもとに選手強化部会を設置し、選手強化に向けた必要な検討を行った。また、職種別に検討を行うため、選手強化部会のもとに職種別に分科会、検討チームを設置した。</p> <p>1. 選手強化部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：平成30年6月～平成31年2月 3回 ・委 員：学識経験者、企業の技術育成責任者、団体運営責任者等 <p>2. 職種別分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：平成30年10月～平成31年3月 職種ごとに3回程度実施 ・委 員：競技主査、企業の技能者育成担当者、エキスパート経験者、国際大会選手経験者、関係団体、運営責任者等 <p>3. 職種別分科会長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：平成30年11月16日 1回 ・委 員：各職種分科会長 <p>4. 職種横断的な戦略検討チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：平成30年7月～平成31年2月 3回 ・委 員：学識経験者、機械加工系職種で国際大会に継続的に選手を出場させている企業の関係者 <p>1. ASEAN スキルズ派遣</p> <p>製造チームチャレンジ職種において、競技大会期間中、デモンストラーションを行った。</p> <p>電子機器組立職種において、ASEAN 技能競技大会電子機器組立職種の競技課題について、担当するタイに対して助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会名：ASEAN 技能競技大会 ・派遣期間：平成30年8月26日～9月5日

事 項	実 施 状 況
	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣場所：タイ（バンコク） <p>2. EURO スキルズ</p> <p>「CNC フライス盤」職種の日本代表選手及びエキスパートを派遣するとともに、日本ブースを設置し、2023年技能五輪国際大会の招致活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会名：Euroskills2018 ・派遣期間：平成30年9月24日～10月1日 ・派遣場所：ハンガリー（ブタペスト） <p>3. 韓国大会派遣</p> <p>韓国技能競技大会の会場である Yeosu EXPO を訪問し、各競技を視察するとともに、HRDKorea が招聘した、ナミビア、ザンビア、コスタリカ、コロンビア、モンゴルの技術代表に対して、国際大会招致等に関する意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会名：韓国技能五輪全国大会 ・派遣期間：平成30年10月3日～7日 ・派遣場所：韓国（麗水市） <p>4. 台湾大会派遣</p> <p>台湾技能競技大会の会場である、労働部労働局発展書中彰分署等を訪問し、各競技の状況を視察した。</p> <p>また、技能五輪国際大会と選手のキャリア形成に関する国際フォーラムに参加し、日本における状況について説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会名：台湾技能五輪全国大会 ・派遣期間：平成30年8月8日～13日 ・派遣場所：台湾（台中） <p>5. 北東アジア・フレンドシップ・コンペティション</p> <p>競技大会会場である中部ポリテクセンターにて、競技の状況を視察した。</p> <p>CNC フライス盤、CNC 旋盤とも、韓国人選手が競技参加するとともに、韓国及び台湾エキスパートと意見交換を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣期間：平成30年8月22日～25日 ・派遣場所：愛知県小牧市 <p>6. 第56回技能五輪全国大会への韓国、台湾の技術代表等の受入れ</p> <p>韓国技術代表等は、国内事情により来日を見送ったが、台湾技術代表等は技能五輪全国大会を視察し、意見交換を行った。</p>

事 項	実 施 状 況
	<ul style="list-style-type: none"> ・受入期間：平成 30 年 11 月 1 日～5 日 ・受入場所：沖縄県 <p>7. チーフエキスパート等の受け入れ</p> <p>技能五輪全国大会にチーフエキスパート等 5 職種 5 名を受け入れ、国内競技主査、エキスパート等と意見交換を行った。</p> <p>第 56 回技能五輪全国大会にチーフエキスパート等を受け入れ、競技委員、エキスパート等と意見交換等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入期間：平成 30 年 11 月 1 日～5 日 ・受入場所：沖縄県
エ 通訳研修	<p>第 45 回技能五輪国際大会に係る通訳者の集合研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：平成 31 年 2 月 5 日、3 月 14 日 ・実施場所：AP 西新宿 ・内 容：技能五輪国際大会の概要、競技規則等
オ 事前の研修合宿等の実施	<p>国際大会への派遣に当たり、選手、エキスパート、指導者等を一堂に集めて研修を以下のとおり行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実 施 日：平成 30 年 12 月 12 日～13 日 ・実施場所：クロス・ウェーブ船橋（船橋市） ・参 加 者：選手、エキスパート、技術代表等 ・内 容：第 44 回国際大会の出場選手及びエキスパートによる経験談、国際大会出発までの準備、スケジュール、心構え等について研修を行った。また、職種に必要な資料を翻訳し配布した。
カ 選手強化等の実践的な強化訓練	<p>事業項目 5（イ）中の 2. の職種別分科会において策定された強化訓練計画、エキスパート養成計画等に基づき、強化訓練等を実施した。また、強化訓練に係る材料等の支援を行った。</p>
キ エクスパート養成講座等の実施	<p>第 45 回技能五輪国際大会に参加するエキスパートに対して、WS I がエキスパートの受講を義務付けるアクセスプログラム GEN、VA1 を延べ 59 名に実施し、エキスパート養成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：平成 31 年 1 月 30 日～31 日、2 月 14 日～15 日 ・実施場所：職業能力開発総合大学校
ク 国際大会実施職種に対応するための国内大会予選大	<p>印刷職種の業界団体からの申請に基づき、競技大会実施のための要項を策定し、競技委員等の旅費等の支援を行った。</p>

事 項	実 施 状 況
<p>会への支援</p> <p>ケ 企業等間の連携の仲介等</p> <p>コ W S I への参加経費等</p> <p>6 カザン大会出場選手選抜に係る選考会の実施等</p>	<p>技能五輪国際大会のメダリスト3名の活躍等事例をインタビュー形式で収集し、国際大会招致公式ウェブサイトにおいて動画で紹介した。</p> <p>1. W S I へ年会費2分の1を支払った。</p> <p>2. フラッグリレーの実施 若年者ものづくり競技大会の開催にあわせ、ワールドスキルズ・ロシアが技能五輪国際大会の認知度を向上させることを目的に過去開催国を歴訪し、大会フラッグを手交し、つなぐ式典を開催し、W S I へ貢献するとともに技能五輪国際大会招致の機運醸成を図った。</p> <p>3. 大会準備週間会議（C P W）への関係者の派遣（カザン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣期間：平成31年1月21日～27日 ・派遣先：ロシア（カザン） ・内 容：WSI メンバー各国、WSK 関係者（事務局、ワークショップマネージャー等）、WSI 関係者、グローバルスポンサー等、計500人程度が参集し、当年8月開催の第45回大会に関する説明と意見交換が行われた。 <p>第45回技能五輪国際大会に出場するCNC旋盤職種及びCNCフライス盤職種の出場選手選考会を以下のとおり開催した。</p> <p>1. 開催日程：CNC旋盤 平成30年8月19日～8月24日 CNCフライス盤 平成30年8月20日～8月25日</p> <p>2. 開催場所：ポリテクセンター中部（小牧市）</p> <p>3. 競技職種：2職種を実施 CNC旋盤、CNCフライス盤</p> <p>4. 参加選手：9人</p> <p>5. 後 援：愛知県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、都道府県職業能力開発協会、一般社団法人全国技能士会連合会、公益社団法人愛知県技能士会連合会</p> <p>6. 併催イベント</p>

事 項	実 施 状 況
<p>7 2023 年技能五輪国際大会の招致</p> <p>ア 招致委員会の設置</p> <p>イ 情報収集、支持要請の実施等</p> <p>ウ プロポーザルシート等の作成</p> <p>エ W S I による検証訪問への対応</p> <p>オ 招致に向けた機運醸成のための取組</p>	<p>技能五輪国際大会の周知を促進するために、パネル展示を行った。</p> <p>招致委員会並びに大会招致部会、機運醸成部会及び選手強化部会の3つの部会を設置し、国際大会招致等に向けた必要な検討を行った。</p> <p>1. 招致委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：平成30年4月～平成31年2月 3回 ・委員：学識経験者、企業の技術育成責任者、団体運営責任者等 <p>2. 3つの部会（大会招致部会、機運醸成部会、選手強化部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：平成30年4月～平成31年3月 延べ18回(合同部会含) ・委員：学識経験者、企業の技術育成責任者、団体運営責任者等 <p>2023 年技能五輪国際大会の招致に当たり、計画の策定等に必要となる経済波及効果等の調査を行った。</p> <p>2023 年技能五輪国際大会の開催基本計画を作成すると共に、その開催によってもたらされる経済波及効果を必要な情報を収集し、推計することにより、日本経済活性化の観点から日本開催の効果を検証した。</p> <p>併せて、見込まれる収入額及び必要と考えられる支出額を算出した。</p> <p>また、WorldSkills International が行う検証訪問に対応するためのチェックリスト、提案書、プレゼンテーションに使用するための資料を作成した。</p> <p>1. 情報の収集</p> <p>前回大会のプロポーザルシートを基に、会場インフラ、開催地、カザン大会など他の大会、過去の検証訪問の状況、他の立候補国・地域の状況等について、愛知県と連携し、情報を収集した。</p> <p>2. 検証訪問への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入期間：平成31年3月17日～21日 ・受入場所：東京都内及び愛知県内 ・訪問者：WSI の会長、事務局長及び競技大会担当部長 <p>2023 年技能五輪国際大会の招致に当たり、機運醸成のための取組を行った。</p> <p>1. ものづくりワールドなどへの出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりワールド及びものづくり・匠の技の祭典へ出展を行った。

事 項	実 施 状 況
	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日程：平成30年6月～10月 全3回 ・開催場所：東京ビックサイト、インテックス大阪、東京国際フォーラム <p>2. 国際大会招致PRのための専用ホームページの開設及び運用管理 国際大会招致PRのための専用ホームページを開設し、平成30年11月～平成31年3月まで運用管理を行った。</p> <p>3. ポスター等によるPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター 2,000部 ・リーフレット 84,200部 ・パンフレット 6,500部 <p>4. 各種イベントでの広報活動 技能五輪全国大会、技能グランプリにおいてもものづくり体験の実施、招致PRの展示を行うと共に、メッセナゴヤで招致PRの展示を行った。 また、「Skill Me!」を開催し、技能体験の実施、メダリストによる実演・解説、招致PRの展示を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日程：平成30年11月～平成31年3月 全5回 ・開催場所：奥武山公園他（沖縄県）、ポートメッセ名古屋（愛知県）、神戸国際展示場他（兵庫県）、イオンモール広島府中（広島県）、イオンモール福岡（福岡県） <p>5. 体験型プログラム メダリストが小中学校において技能の実演、ものづくり体験の指導を行う若年層向けの体験プログラム「One School One Skill」を11回実施した。</p>
<p>8 若年技能者人材育成支援等</p> <p>ア 地域における技能振興</p>	<p>1. 地域における技能振興事業の支援等</p> <p>(1) 都道府県技能振興コーナーが実施する技能振興事業の支援 都道府県技能振興コーナー（以下「コーナー」という。）が実施する技能振興事業が効果的に実施されるよう、43コーナーの技能振興イベントについて、延べ47回、地元新聞紙等への広告を掲載した。</p> <p>(2) ブロック開催の技能振興事業の実施</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>全国のコーナーを 6 ブロックに分けて、ブロックごとに各コーナーと協力しつつ、以下のイベントを実施した。</p> <p>7. 技能競技大会展</p> <p>技能競技大会展では、競技職種、競技内容の説明、全国大会と国際大会の関係、全国大会の開催スケジュール等をパネル展示で行うとともに、技能五輪国際大会及び国内大会における成績優秀者による実演、大会風景の映像放映、関連する資料の配布等を行うことで、広く技能競技大会の周知ができるイベントを行った。</p> <p>4. 技能士展</p> <p>技能検定制度、技能検定試験及び技能士会の紹介、技能士と社会の関わり、技能士になることのメリット、技能士が企業にいることによる企業のメリット、技能士になるためにかかる標準的な訓練期間・訓練内容、技能士の具体的な技能レベル等をパネル展示で行うとともに、技能士による実演、技能グランプリの大会風景の映像放映、関連する資料の配布等を行い、広く技能士制度の周知や普及の促進ができるイベントを行った。</p> <p>(3) シンポジウム</p> <p>上記(2)のイベントのうち「関東・甲信越ブロック」で開催する 1 回は業界団体等を集めたシンポジウムとして行った。</p> <p>平成 30 年 12 月 15 日、秋葉原 UDX にて 194 名の参加のもと開催。参加者アンケートで「非常に満足」又は「満足」と回答した割合 89.6%。</p> <p>メインスピーチ：「手に職つけければ怖くない」 山田 五郎氏（編集者、評論家）</p> <p>フリーディスカッション：「女性とものづくりの魅力」 パネリスト 山田五郎氏、中村有希氏（現代の名工（婦人服製造））、西川喜久氏（(株)西川精機製作所代表取締役）、横島敬子氏（溶接工）</p> <p>(4) 「地域発！いいもの」応援</p> <p>各地域で行われている技能振興に資する取組み・制度等について広く国民への周知を図るため、「地域発！いいもの」応援として、年 1 回の応募を行った。選定委員会の審査を経て 9 事例が選定され、平成 31 年 3 月 19 日に厚生労働省により報道発表が行われた。</p> <p>また、平成 28、29 年度の認定事例のうち 16 事例について取材、編集し「地域発！いいもの」好事例集を 13,000 部作成した。</p> <p>(5) グッドスキルマークの認定</p> <p>技能検定制度のさらなる周知・普及を図るため、一級技能士又は単一等級技能士が製作した、あるいは製作に関わった場合にのみ、商品又は作業現場等に表示できるグッドスキルマークについて審査委員会</p>

事 項	実 施 状 況
イ ものづくりマイスター等の認定・登録	<p>の審査を経て平成 31 年 3 月 20 日付けで 66 件を認定した。</p> <p>(6) 入職促進ガイドブックの作成</p> <p>製造業・建設業を対象とした、業界・業種への入職を促すためのガイドブックを各業種別に 10,000 部作成し、学校等に配布の他、ポータルサイト「技のとびら」で公開した。</p> <p>取材した企業の職種は、製造業は、家具製作、婦人子供服製造、味噌製造、鋳造、プラスチック成形、金属ばね製造の 6 職種。建設業は、広告美術仕上げ、タイル張り、建築板金、冷凍空気調和機器施工、防水施工、石材施工の 6 職種。</p> <p>(7) 生産性向上のための IT の活用の現場とものづくりマイスターの活用に係る好事例等の公表</p> <p>全国の各コーナーにおいて開催した、生産性向上のための IT の活用の現場とものづくりマイスターの活用に係る好事例発表を取りまとめ意見交換会の結果概要について、ポータルサイト「技のとびら」で公開した。</p> <p>2. 技能検定制度等に係るポータルサイト「技のとびら」の改修及び保守・管理による情報提供</p> <p>閲覧者に対し、画面構成がより「探しやすく」「見やすく」「わかりやすく」となるよう、上半期にウェブデザイン等の有識者や厚生労働省をメンバーとする「技のとびら改修委員会」を 3 回開催し、改修案を取りまとめた。</p> <p>改修案を基に今年度における改修作業について、平成 31 年 3 月 20 日に公開が完了した。</p> <p>「技のとびら」のコンテンツの情報更新を合計 194 回行い、年間のアクセス数は 884,788PV に到達した。</p>
	<p>3. 技能競技大会成績優秀者を活用した若年者のものづくり産業への就業意識の啓発</p> <p>技能五輪国際大会金メダリスト等の派遣</p> <p>各コーナーから挙げた技能五輪国際大会金メダリスト等の技能競技大会成績優秀者の派遣等要請に対し、当該成績優秀者や所属企業等と調整を行い、5 コーナーに対し延べ 6 人の派遣を行った。</p> <p>1. ものづくりマイスター推進会議</p> <p>ものづくりマイスター制度の効果的な推進等にかかる意見を聴取し、今後の事業に活かすために、学識経験者、業界団体関係者、事業主団体関係者、労働者団体関係者、企業関係者、技能士会関係者、教育訓練機関関係者、労働組合関係者等の有識者構成員からなる「もの</p>

事 項	実 施 状 況																								
ウ ものづくりマイスター等の活用	<p>づくりマイスター推進会議」を平成 30 年 7 月 11 日に開催した。</p> <p>2. 認定基準の改定・通知等 IT 技術を活用した生産性向上等の指導が可能なものづくりマイスターに係る認定基準等の策定を行い、「テックマイスター」として第 5 回の審査から認定を行った。</p> <p>3. ものづくりマイスター・IT マスター・テックマイスター認定申請書の審査等 コーナーを經由して提出されたものづくりマイスター及び IT マスターの認定申請書について、認定委員会において審査を行い、合計 1,072 名のものづくりマイスター、108 名の IT マスター、8 名のテックマイスターを認定した。認定者には、コーナーを通じて認定証を交付した。</p> <table border="1" data-bbox="549 920 1426 1500"> <thead> <tr> <th colspan="2">開催日時</th> <th colspan="2">認定者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回</td> <td>平成 30 年 5 月 17 日</td> <td>ものづくりマイスター IT マスター</td> <td>313 名 19 名</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>平成 30 年 7 月 12 日</td> <td>ものづくりマイスター IT マスター</td> <td>280 名 15 名</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>平成 30 年 10 月 11 日</td> <td>ものづくりマイスター IT マスター</td> <td>245 名 25 名</td> </tr> <tr> <td>第 4 回</td> <td>平成 30 年 12 月 13 日</td> <td>ものづくりマイスター IT マスター</td> <td>133 名 29 名</td> </tr> <tr> <td>第 5 回</td> <td>平成 31 年 2 月 22 日</td> <td>ものづくりマイスター IT マスター テックマイスター</td> <td>101 名 20 名 8 名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日時		認定者数		第 1 回	平成 30 年 5 月 17 日	ものづくりマイスター IT マスター	313 名 19 名	第 2 回	平成 30 年 7 月 12 日	ものづくりマイスター IT マスター	280 名 15 名	第 3 回	平成 30 年 10 月 11 日	ものづくりマイスター IT マスター	245 名 25 名	第 4 回	平成 30 年 12 月 13 日	ものづくりマイスター IT マスター	133 名 29 名	第 5 回	平成 31 年 2 月 22 日	ものづくりマイスター IT マスター テックマイスター	101 名 20 名 8 名
	開催日時		認定者数																						
第 1 回	平成 30 年 5 月 17 日	ものづくりマイスター IT マスター	313 名 19 名																						
第 2 回	平成 30 年 7 月 12 日	ものづくりマイスター IT マスター	280 名 15 名																						
第 3 回	平成 30 年 10 月 11 日	ものづくりマイスター IT マスター	245 名 25 名																						
第 4 回	平成 30 年 12 月 13 日	ものづくりマイスター IT マスター	133 名 29 名																						
第 5 回	平成 31 年 2 月 22 日	ものづくりマイスター IT マスター テックマイスター	101 名 20 名 8 名																						
<p>4. ものづくりマイスター等に係るデータ管理 新規認定されたものづくりマイスター等の情報は、ものづくりマイスター認定・登録システムに登録し公開。テックマイスターの情報は、今年度中は暫定的にポータルサイト「技のとびら」に掲載し公開した。</p> <p>1. ものづくりマイスターを活用した人材育成に関するコンセンサスの形成 以下のパンフレット・好事例集等を作成。</p> <p>(1) 「ものづくりマイスター制度のご案内」「IT マスター制度のご案内</p>																									

事 項	実 施 状 況
	<p>内」各100,000部ずつ作成</p> <p>(2)「ものづくりマイスター活用好事例集」の作成（中小企業編、学校編各12,000部ずつ新規作成ほか）</p> <p>(3)過年度作成印刷物の増刷及び配布。</p> <p>平成 28 年度作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ものづくり体験事例集」の増刷 2,470 部 <p>平成 29 年度作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ものづくりマイスター制度のご案内」 8,800 部 ・「IT マスターのご案内」 1,000 部 ・「ものづくりマイスター好事例集」（中小企業編） 1,850 部 ・「ものづくりマイスター好事例集」（学校編） 660 部 ・「技能士活躍好事例集」（企業向け） 1,000 部 ・「技能士活躍好事例集」（学校向け） 500 部 <p>(4)3級技能検定実技試験課題を用いた人材育成マニュアルの増刷 認定されたものづくりマイスターに配布するため11職種472部の増刷を行った。</p> <p>(5)ものづくりマイスターシンボルマークの周知・活用（シール：1,300パック、腕章350枚、ワッペン620枚追加作成）</p> <p>2. コーナーにおけるものづくりマイスターに対する指導技法等講習の実施に関する支援等</p> <p>(1)ITマスターの講師に対する講習会の実施</p> <p>「IT マスターに対する指導技法等講習の講師向け講習会」について、東日本地区（東京都内）で平成 30 年 11 月 29 日（20 名出席）、西日本地区（大阪府内）で平成 31 年 1 月 18 日（19 名出席）に開催した。</p> <p>講師：特定非営利活動法人インターネットスキル認定普及協会 平田 克二 副理事長</p> <p>(2)ものづくりマイスターを対象とした事例発表・意見交換会を以下のとおり実施した（各会の参加者のうち2名は事例発表者）。</p> <p>○東京都内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年 12 月 12 日 機械加工職種（16 名参加） ・平成 30 年 12 月 13 日 量製作職種（11 名参加）

事 項	実 施 状 況
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年 12 月 14 日 左官職種 (12 名参加) <p>○大阪府内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年 1 月 16 日 機械加工職種 (14 名参加) ・平成 31 年 1 月 17 日 畳製作職種 (10 名参加) ・平成 31 年 1 月 17 日 左官職種 (12 名参加) <p>3. IT マスターの活動支援</p> <p>IT マスターが「IT の魅力」の発信で指導する「プログラミング教材 (小学生向け)」で使用するロボットについて円滑に実施運営がなされるよう、一括してセンターがロボット 50 台 (1 セット 5 台、10 セット) を借り上げ、コーナー間における事業実施に係るスケジュールの調整を行いながらコーナーにロボットを提供し、全国的なニーズに対応できるよう効率的に事業を実施した。</p> <p>4. ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施等</p> <p>(1) ものづくりマイスター等の派遣による実技指導の実施</p> <p>全国のコーナーにおいて、中小企業・団体や工業高校等からの要請を受けて、ものづくりマイスター・IT マスターを派遣し、実技指導を実施した。派遣に当たっては、要請先の指導ニーズを的確に把握した上で、効果的な指導となるよう、ものづくりマイスター選定と実技指導内容について適切なコーディネートを実施した。</p> <p>【実技指導の実施結果】</p> <p>ものづくりマイスター 全国で 138, 448 人日 IT マスター 全国で 1, 259 人日</p> <p>(2) 「目指せマイスター」プロジェクト</p> <p>ア. 「ものづくりの魅力」発信</p> <p>小中学校等や教職員の理解と協力を得て、児童・生徒等に、ものづくりマイスターがその仕事をするようになったきっかけや仕事の内容、仕事の楽しさや辛さなどを直接語り、必要に応じてものづくり体験や事業所見学も行う「ものづくりの魅力」発信の授業を実施。</p> <p>イ. 「IT の魅力」発信</p> <p>小中学校等や教職員の理解と協力を得て、児童・生徒等に、情報技術に関する興味を喚起させ、情報技術を使いこなす職業能力の付与実現に向け、IT 技能に関わる楽しさを伝えるために「IT の魅力」発信の授業を実施。</p> <p>ウ. 若者に対する「ものづくりの魅力」発信</p> <p>地域若者サポートステーションからの要請を受け、様々な要因</p>

事 項	実 施 状 況
<p>エ 全国斉一的な事業展開</p>	<p>で未就労になっている若者に対して、ものづくりマイスターを活用した必要な支援策を検討・実施。</p> <p>エ. ものづくりマイスターの働く現場での職場体験実習</p> <p>一人親方や自ら事業を営んでいるものづくりマイスターに対し、2日間以上にわたる職場体験実習の実施について要請し、協力が得られた場合には、学校やハローワーク等に参加者を呼びかけ、実施。</p> <p>【「目指せマイスター」プロジェクトの実施結果】</p> <p>ものづくりマイスター 全国で 77,575 人日</p> <p>IT マスター 全国で 5,875 人日</p> <p>1. 全国会議の開催等による中央技能振興センター（以下「センター」という。）とコーナー間の連携の強化等</p> <p>全国会議及びブロック会議を以下のとおり開催した。</p> <p>(1) 全国会議</p> <p>開催日時：平成 30 年 4 月 24 日</p> <p>開催場所：A P 西新宿</p> <p>出席者：47 コーナー＋センター職員：99 名</p> <p>厚生労働省人材開発統括官付能力評価担当参事官室：3 名</p> <p>議 題：</p> <p>①平成 30 年度事業概要</p> <p>②平成 29 年度の活動実績及び平成 30 年度の目標設定</p> <p>③ブロック会議の日程等、生産性・品質向上 IT 課長好事例発表</p> <p>④ポータルサイト「技のとびら」の改修</p> <p>⑤ものづくりマイスター・IT マスター認定申請に係る留意事項</p> <p>⑥ものづくりマイスター・IT マスター認定登録システムに係る留意事項</p> <p>⑦IT マスターによる実技指導の実施、IT マスターによる「IT の魅力」発信の実施</p> <p>⑧IT マスターロボットプログラミングにおけるロボットレンタル</p> <p>⑨広報関係、ブロックイベント</p> <p>⑩材料費の追加徴収に係る申請</p> <p>⑪金メダリスト派遣、委託事業に係る傷害保険</p> <p>⑫グッドスキルマークの申請受付</p> <p>⑬育成支援課業務</p> <p>⑭質疑応答</p> <p>(2) ブロック会議</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>ア. 北海道・東北ブロック 開催日：平成 30 年 11 月 19 日 開催場所：仙台ガーデンパレス（宮城県）</p> <p>イ. 関東・甲信越ブロック 開催日：平成 30 年 11 月 15 日 開催場所：AP 西新宿（東京都）</p> <p>ウ. 東海・北陸ブロック 開催日：平成 30 年 11 月 26 日 開催場所：アイリス愛知（愛知県）</p> <p>エ. 近畿ブロック 開催日：平成 30 年 11 月 29 日 開催場所：AP 大阪梅田東（大阪府）</p> <p>オ. 中国・四国ブロック 開催日：平成 30 年 12 月 4 日 開催場所：岡山コンベンションセンター（岡山県）</p> <p>カ. 九州・沖縄ブロック 開催日：平成 30 年 12 月 3 日 開催場所：TKP 博多駅前シティセンター（福岡県）</p> <p>議 題（全ブロック共通）：</p> <p>①平成 30 年度の事業進捗状況について（説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりマイスター・IT マスターの実績について ・センターにおける事業実施状況等について <p>②平成 30 年度事業におけるコーナー活動状況（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性・品質向上のための IT の活用を図る企業の好事例発表及び意見交換会 ・IT マスター開拓の取組 ・IT 技術を活用した生産性・品質向上の指導を実施するものづくりマイスター（テックマイスター）の活動実績について <p>2. 活動目標の進捗管理</p> <p>事業全体の活動目標が確実に達成されるよう、必要に応じてコーナーに報告を求める等により、コーナーの業務進捗状況を的確に把握しつつ、適切な業務指導、業務調整等を行った。</p> <p>3. 業務に関する質疑・要望等</p> <p>「ものづくりマイスター認定・登録システム」等を通じてコーナーから寄せられた質疑・要望等について、委託元に確認のうえ、センターから回答を行った。</p>

事 項	実 施 状 況
<p>9 関係業種団体の技能競技大会等に対する協力</p>	<p>1. 会員団体等の実施する行事に対する後援等 職業能力の開発及び向上の促進に寄与するため、会員団体等の主催する技能競技大会等、31 団体〔38 団体〕への後援又は審査員の派遣等を行った。</p> <p>2. 会員団体等の実施する技能競技大会等における表彰 技能者の意気高揚を促し技能尊重気運の醸成を図るため、会員団体等の実施する技能競技大会等、延べ 18 団体〔17 団体〕が実施した競技大会等の入賞者に対して、会長賞又は理事長賞を授与した。</p>

第 4 緊急人材育成・就職支援基金事業の実施

事 項	実 施 状 況
<p>1 各種奨励金等の迅速かつ円滑な支給</p>	<p>若年者人材育成・定着支援奨励金関係業務（平成30年度で終了） 非正規雇用の若年者に正規雇用として雇い入れることを前提に訓練を実施した事業主に対する若年者人材育成・定着支援奨励金について、支給対象であると都道府県労働局長が認めた事業主に対し、協会に支給申請書到着後14日以内に奨励金の支給を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年者人材育成・定着支援奨励金 12件 650万円
<p>2 債権回収業務の実施</p>	<p>1. 個別の債権毎に折衝状況等は、管理経緯としてに確実に残し、今後の対応に活かした。また「債権管理データベース」において、債権毎の状況分類を行うことにより債権管理を効率よく行った。</p> <p>2. 緊急人材育成・就職支援基金事業に係る未収債権について、財務上、回収が可能とされている金額（未収金債権額-貸倒引当金）を5年間で回収するとした場合の金額3,100万円を目標にして、回収を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（目標に対する）回収金額 950万円 (達成率30.7%) ・平成30年度回収総額 2,681万円 <p>3. 平成30年度に発生した新規債権については「債務承認」（返済開始、分割返済の契約を含む）の取得を全件（100%）とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 新規債権件数 11件 ・平成30年度 新規債権「債務承認」取得件数 11件 (達成率 100%)

事 項	実 施 状 況
3 支給業務以外の経過措置業務の実施	<p>1. 緊急人材育成支援事業</p> <p>平成21年度から平成25年度に支援を開始した者に対する支援として次の経過措置業務を一般社団法人日本労働者信用基金協会を通じて実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練・生活支援資金融資に係る保証経費の補助 1,404万円 <p>2. 長期失業者等支援事業</p> <p>平成21年度中に支援を開始した者に対する支援として、次の経過措置業務を一般社団法人日本労働者信用基金協会を通じて実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職安定資金融資に係る保証経費の補助 286万円

第5 広報出版・情報資料の提供

事 項	実 施 状 況
1 職業能力開発の推進のための広報活動	<p>技能検定をはじめとする、能力開発・能力評価関連事業の周知・広報のため、次の活動を行った。</p> <p>1. 当協会の事業内容等について、ホームページによる広報活動</p> <p>ホームページ (https://www.javada.or.jp/) のトップページをリニューアルし、技能検定、コンピュータサービス技能評価試験、ビジネス・キャリア検定をはじめ、技能五輪大会等の各競技大会、教育訓練給付制度厚生労働大臣指定教育訓練講座検索システム、若年技能者人材育成支援、2023年技能五輪国際大会招致等について広報を実施した。</p> <p>また、ホームページをSSL化し、セキュリティ強化を図った。</p> <p>アクセス件数：2,199,841件 [2,268,661件]</p> <p>2. メールマガジンの配信</p> <p>技能検定をはじめとする、当協会の能力開発・能力評価関連事業の広報活動を行うため、「JAVADA情報マガジン」を配信した。</p> <p>全国版：12回 [12回]、全国特別版：7回 [12回]、都道府県版：17回 [73回]</p> <p>3. 新聞、月刊紙等の紙面を利用し、当協会の事業について広報活動を行った。</p> <p>新聞：23回、月刊誌等：9回</p>
2 職業能力開発・評価に関する出版物の発行	<p>次の図書を新たに発刊又は増刷した。</p> <p>(新刊)</p> <p>1. 平成29年度 特級 技能検定試験問題集 (第1集) 1,200部</p>

事 項	実 施 状 況
	(第2集) 900部
	2. 平成28・29年度 3級 技能検定試験問題集
	(第1集) 1,000部
	(第2集) 2,000部
	(増刷)
	3. CADS (キャリア開発シート) Ver. 2.2 740部
	4. CADI (環境変化自己診断ツール) Ver. 2.2 6,140部
	5. コンピュータサービス技能評価試験 表計算部門 Ver. 4 1,000部
	6. コンピュータサービス技能評価試験 ワープロ部門 Ver. 4 1,000部
	7. キャリアソフトチェンジのためのワークショップ 「インストラクターガイド」 80部

第6 会務等

事 項	実 施 状 況																											
1 会員及び役員	<p>1. 会員</p> <p>平成31年3月31日現在における会員は、次のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>都道府県協会会員</td> <td>47</td> <td>(47)</td> </tr> <tr> <td>団 体 会 員</td> <td>233</td> <td>(235)</td> </tr> <tr> <td>企 業 会 員</td> <td>68</td> <td>(70)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>348 (352)</td> </tr> </table> <p>注 () 内は、平成30年3月31日現在の会員数である。</p> <p>2. 役員</p> <p>平成31年3月31日現在における役員は、次のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>会 長</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>副 会 長</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>理 事 長</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>常務理事</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>理 事</td> <td>30名(副会長、常務理事を除く)</td> </tr> <tr> <td>監 事</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>37名</td> </tr> </table>	都道府県協会会員	47	(47)	団 体 会 員	233	(235)	企 業 会 員	68	(70)	計		348 (352)	会 長	1名	副 会 長	2名	理 事 長	1名	常務理事	1名	理 事	30名(副会長、常務理事を除く)	監 事	2名	計		37名
都道府県協会会員	47	(47)																										
団 体 会 員	233	(235)																										
企 業 会 員	68	(70)																										
計		348 (352)																										
会 長	1名																											
副 会 長	2名																											
理 事 長	1名																											
常務理事	1名																											
理 事	30名(副会長、常務理事を除く)																											
監 事	2名																											
計		37名																										
2 各種会議の開催	<p>1. 総会・理事会</p> <p>(1) 第57回理事会</p> <p>ア. 開 催 日：平成30年6月20日</p> <p>イ. 場 所：ホテルメトロポリタンエドモント（東京都）</p> <p>ウ. 出 席 者：理事会構成人員35名中32名（含委任状）</p>																											

事 項	実 施 状 況
	<p>エ. 議 長：会長 釜 和明</p> <p>ホ. 議事次第</p> <p>(ア) 議決事項</p> <p>第1号議案 平成29年度事業報告（案）に関する件</p> <p>第2号議案 平成29年度収支決算（案）に関する件</p> <p>第3号議案 役員の選任（案）に関する件</p> <p>上記議案について審議し、原案のとおり了承された。</p> <p>(イ) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員及び参議の選任について ・平成29年度収支予算の変更について <p>(2) 第39回通常総会</p> <p>ア. 開 催 日：平成30年6月20日</p> <p>イ. 場 所：ホテルメトロポリタンエドモント（東京都）</p> <p>ウ. 出 席 者：会員総数352名中307名（含委任状）</p> <p>エ. 議 長：会長 釜 和明</p> <p>ホ. 議事次第</p> <p>(ア) 議決事項</p> <p>第1号議案 平成29年度事業報告（案）に関する件</p> <p>第2号議案 平成29年度収支決算（案）に関する件</p> <p>第3号議案 平成30年度事業計画（案）に関する件</p> <p>第4号議案 平成30年度収支予算（案）に関する件</p> <p>第5号議案 役員の選任（案）に関する件</p> <p>上記議案について審議し、原案のとおり了承された。</p> <p>(イ) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急人材育成・就職支援基金事業（特別会計）に係る平成29年度収支予算の変更について <p>(3) 第58回理事会</p> <p>ア. 開 催 日：平成30年6月20日</p> <p>イ. 場 所：ホテルメトロポリタンエドモント（東京都）</p> <p>ウ. 出 席 者：理事会構成人員35名中32名（含委任状）</p> <p>エ. 議 長：会長 釜 和明</p> <p>ホ. 議事次第</p> <p>議決事項</p> <p>第1号議案 副会長、常務理事の指名に関する件</p> <p>第2号議案 参与の委嘱に関する件</p> <p>第3号議案 参議の選任（案）に関する件</p> <p>上記議案について審議し、原案のとおり了承された。</p> <p>(4) 第59回理事会</p> <p>ア. 開 催 日：平成31年3月20日</p>

事 項	実 施 状 況
<p>3 ブロック別会議等の主催</p>	<p>イ.場 所：グランドヒル市ヶ谷（東京都） ウ.出席者：理事会構成人員35名中35名（含委任状） エ.議長：会長 釜 和明 オ.議事次第 議決事項 第1号議案 2019年度事業計画（案）に関する件 第2号議案 2019年度収支予算（案）に関する件 上記議案について審議し、原案のとおり了承された。</p> <p>2. 第40回参与会議 (1)開催日：平成31年2月14日 (2)場 所：AP西新宿（東京都） (3)座 長：今野 浩一郎 氏 (4)次 第：平成30年度主要事業実績（第3四半期まで）について</p> <p>中央協会と都道府県協会とが一体となり事業を推進していくため、事業全般の諸課題等について、中央協会と都道府県協会との意見交換や情報提供等を目的とした会議を開催した。</p> <p>1. 九都道府県職業能力開発協会連絡協議会 （北海道、宮城県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県の各協会） (1) 第1回 平成30年5月22日（東京都） (2) 第2回 平成30年12月19日（東京都）</p> <p>2. ブロック別会議 (1) 北海道・東北ブロック 平成31年1月28日（宮城県） (2) 関東・甲信越ブロック 平成31年1月22日（東京都） (3) 東海・北陸ブロック 平成31年2月7日（愛知県） (4) 近畿ブロック 平成31年2月6日（大阪府） (5) 中国・四国ブロック （第1回）平成30年11月8日（東京都） （第2回）平成31年1月31日（岡山県） (6) 九州ブロック</p>

事 項	実 施 状 況
<p>4 都道府県協会主催ブロック別会議等への出席</p>	<p>平成31年2月1日（福岡県）</p> <p>都道府県協会との密接な連携のもとに業務を運営するため、都道府県協会が行う各種事業に係る意見交換等を目的に、ブロックごとに開催される会議に次のとおり当協会役職員が出席し、意見交換を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 九都道府県職業能力開発協会連絡協議会 平成30年7月19日～20日（愛知県） 2. ブロック別会議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 北海道・東北ブロック 平成30年10月4日～5日（岩手県） (2) 関東・甲信越ブロック 平成30年9月21日～22日（栃木県） (3) 東海・北陸ブロック 平成30年10月25日（福井県） (4) 近畿ブロック 平成30年9月27日（滋賀県） (5) 中国・四国ブロック 平成30年6月27日（高知県） (6) 九州ブロック （前期）平成30年9月13日（福岡県） （後期）平成31年2月21日（熊本県）
<p>5 中央協会及び都道府県協会職員研修の実施</p>	<p>協会職員の資質・能力の向上を図るため、次のとおり研修を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中央協会職員研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 開催日：（第1回）平成30年10月17日～18日 （第2回）平成31年3月13日～14日 (2) 受講者数：（第1回）8名 （第2回）7名 (3) 場 所：中央協会（東京都） (4) 対 象 者：主に中堅職員 2. 都道府県協会職員研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 開催日：平成30年6月12日～13日 (2) 場 所：AP西新宿（東京都） (3) 内 容： <ol style="list-style-type: none"> ①職業能力開発協会グループ関係業務について ②都道府県職業能力開発協会における今後の能力開発事業の展開に

事 項	実 施 状 況																	
<p>6 都道府県協会主催の職員研修への職員派遣</p> <p>7 コンプライアンス委員会の開催</p> <p>8 会長表彰等</p>	<p style="text-align: center;">ついて（グループワーク）</p> <p>北海道・東北ブロックで実施した職員研修に中央協会から職員を派遣し、協会職員の資質・能力の向上を図った。</p> <p>1. 開催日：平成30年11月29日～30日</p> <p>2. 場 所：ホテルメトロポリタン秋田（秋田県）</p> <p>3. 内 容：</p> <p style="margin-left: 20px;">①文書事務の基礎知識</p> <p style="margin-left: 20px;">②働き方改革について</p> <p style="margin-left: 40px;">—協会として整備しておかなければならない事柄と意識—</p> <p style="margin-left: 20px;">③情報社会における合意形成</p> <p>コンプライアンスの徹底を図るため、コンプライアンス委員会を開催した。</p> <p>1. 第1回：平成30年5月15日</p> <p>2. 第2回：平成30年7月24日</p> <p>3. 第3回：平成30年11月13日</p> <p>4. 第4回：平成31年1月15日</p> <p>5. 第5回：平成31年3月26日</p> <p>職業能力の開発及び向上の促進を図り、技能者の意気高揚を促し技能尊重気運を醸成するため、「職業能力開発関係表彰式」を開催し、「職業能力開発事業関係」、「技能検定事業関係」及び「技能振興事業関係」の事業所、団体及び功労者に対し会長表彰を行った。</p> <p>(1) 開 催 日：平成30年11月21日</p> <p>(2) 場 所：明治記念館（東京都）</p> <p>(3) 被表彰者：200件（190件）</p> <table border="1" data-bbox="528 1541 1437 1800"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">職業能力 開発事業 関係</th> <th colspan="2">技能検定事業関係</th> <th rowspan="2">技能振興 事業関係</th> </tr> <tr> <th>中 央</th> <th>都道府県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業所及び団体</td> <td>5〔1〕</td> <td>0〔6〕</td> <td>18〔18〕</td> <td>0〔4〕</td> </tr> <tr> <td>功 労 者</td> <td>24〔26〕</td> <td>23〔20〕</td> <td>118〔109〕</td> <td>12〔6〕</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	職業能力 開発事業 関係	技能検定事業関係		技能振興 事業関係	中 央	都道府県	事業所及び団体	5〔1〕	0〔6〕	18〔18〕	0〔4〕	功 労 者	24〔26〕	23〔20〕	118〔109〕	12〔6〕
区 分	職業能力 開発事業 関係			技能検定事業関係			技能振興 事業関係											
		中 央	都道府県															
事業所及び団体	5〔1〕	0〔6〕	18〔18〕	0〔4〕														
功 労 者	24〔26〕	23〔20〕	118〔109〕	12〔6〕														

事 項	実 施 状 況		
9 職業訓練生災害傷害 保険制度の推進	職業訓練施設に在籍する訓練生の訓練中又は通校途中の傷害事故に対する保険制度を次のとおり実施した。		
区 分	公 共	認 定	合 計
加 入 者	42,561名 〔45,274名〕	877名 〔936名〕	43,438名 〔46,210名〕
支給件数	885件〔866件〕 【0件〔0件〕】	22件〔10件〕 【0件〔0件〕】	907件〔876件〕 【0件〔0件〕】
(注) 支給件数欄中の【 】内の数値は、死亡事故に係る支給件数で内数である。			